



## 不登校児童・生徒の支援団体の連絡会の設置について

長瀬 未紗 議員 《会派に属さない議員》

不登校は子どもが心の中で発しているSOSの表れであるとも言えます。子どもたちに寄り添い、安心して過ごせる環境を整えることが重要です。

現在、校内教育支援センターの設置が進められています。校内に居場所があることで救われる子どもがいますので、早急に進めていただきたいと思います。一方で、学校に通えない子どもも確実に存在しており、その子に合った居場所が必要であるという実も受け止めいただきたいと考えます。地域の居場所は子どもたちの命綱とも言えます。また、民間のフリースクールや居場所を周知するため

にも、連絡会を設けて、市から情報発信し、保護者や子どもが選択できるという環境を整えることが必要と考えます

が、見解を伺います。

教育長 今後は不登校支援に携わる支援団体の連絡会を立ち上げるつもりです。情報提供の方法については、近隣市の取組を参考にしながら、早期に実現できるよう準備をしつかりと進めていきたいと思っています。子どもたちの中には、学校にはどうしても行けないお子さんがいると思いますので、そういういろいろな場の提供をしていくことも教育委員会の大切な仕事の一つと考えています。



## 教育バウチャー制度について

美濃口 集議員 《新政いさま》

教育バウチャー制度（国や自治体が教育費に使えるクーポンを支給し、保護者が希望する学校や教育サービス自由に選べる仕組み）の導入と、塾や習い事などで利用可能なクーポン支給についての見解を伺います。また、先進事例を伺います。

学校外教育に対する支援という観点で一定の意義は認識していますが、本市の子育て支援策を伺います。また、先進事例となる取組が必要と考えます。現在考えている新たな子育て支援策を伺います。

こども未来部長 他市では、生活保護世帯など、主に福祉分野で導入されている例が見られます。本市としては、子育て支援全体の中では、最も支援ニーズの高い時期へ出産直後から乳幼児期に至るまで導入することは難しい状況にあります。また、新たな支援策の考えは、保護者の不安軽減や家庭の安定、子供の健やかな成長につながる効果が期待できる支援については、必要な支援として実感していただきる施策の実施に引き続き取り組みます。



## 新制度導入による下水道施設の維持管理と地元企業の支援について

吉田 義人 議員 《自由民主党座間市議団》

下水道事業経営戦略にある、官民連携の進捗を伺います。

上下水道局長 地元企業は長期契約により年間を通じて工事の閑散期がなくなることで、安定した長期計画が立てられています。また、

下水道事業の拡充など、早期の支援に力を入れていることが本市の子育て支援の強みであると考えています。一方で、教育バウチャー制度は、学校外教育に対する支援とい

## 一般管の管理不全の改善を



沖永 明久 議員 《会派に属さない議員》

本市において一般管と呼ばれているものは、公共下水道が整備される以前に、生活雑排水や雨水を河川へ導く地下埋設管で、現在も利用されていますが、財産台帳に記帳されているのか伺います。また、総延長距離、管の種類、勾配、土かぶり、人孔等のデータが整備されているのか伺います。

都市部長 一般管の財産台帳はありませんが、座間市一般下水道管網図により管理しています。管網図は、住宅地図に管理区分で色分けされた管路の位置が手書きのラインと管の口径が記載されています。管の口径が存在しています。

【再質問】 本来あるべき

## 成年後見人等による住所変更手続のワンストップ化について



京免 康彦 議員 《新政いさま》

成年後見制度を利用する市民が年々増加する中、成年後見人や保佐人、補助人、任意後見人等が被後見人の住所変更や送付先変更の手続を行う際、介護保険課、長寿支援課、保険年金課、生活支援課など複数の部署を回り、同じ内容を何度も記入しなければならない状況が続いていることがあります。こうした状況は、

福祉部長 被後見人等に関する行政手続は多岐にわたり、現状ではそれぞれの窓口で手続きが必要ですが、こうした状況は改善すべきと考えます。一度の届出で関係部署が処理できる仕組みの構築は有効であり、先行自治体の取組を参考に検討を行うなかつたことが根本的な原因であり、管理が十分とは言えなかつた状況は真摯に受け止めなければならぬと思っています。今後の対応については、まずは、現地調査を行い、管の詳細を把握してい

【再質問】 ウォーターパーク導入のメリットや、共同企業体の構成員となる事業者や従業員に求められる資格と、

## 介護現場の業務負担軽減市にも対応を求める



竹田 陽介 議員 《自由民主党座間市議団》

介護保険制度の根幹を支えるケアマネジャーの業務負担について伺います。法定業務を超えた、いわゆるシャドーワークの常態化による長時間労働や人材不足の実態と負担感を把握しているのか。また、人材不足による住民サービスへの影響をどのように認識しているのか。さらに、国は法定外業務を地域課題とし、保険外サービスやインフォーマル資源の活用を市町村に求めていますが、本市の具体的な対応と、制度改正を国に要望することへの見解を伺います。

【再質問】 現場では善意による対応が限界に近づいています。国において制度改正に反映させる姿勢が必要な動向を注視していきます。

福祉部長 ケアマネジャーは善意の下に行われており深刻な課題です。成年後見制度など活用可能な制度の周知も必要なことだと捉えています。

22・議会運営委員会	・第4回定例会
23・広域大和斎場組合議会	・会第2回定例会
24・高座清掃施設組合議会	・会第2回臨時会
19・議会運営委員会	・長野県下諏訪町議会
16・議会運営委員会	・視察来訪



## 新制度導入による下水道施設の維持管理と地元企業の支援について

吉田 義人 議員 《自由民主党座間市議団》

下水道事業経営戦略にある、官民連携の進捗を伺います。

上下水道局長 地元企業は長期契約により年間を通じて工事の閑散期がなくなることで、安定した長期計画が立てられています。また、

下水道事業の拡充など、早期の支援に力を入れていることが本市の子育て支援の強みであると考えています。一方で、教育バウチャー制度は、学校外教育に対する支援とい

22・議会運営委員会	・第4回定例会
23・広域大和斎場組合議会	・会第2回定例会
24・高座清掃施設組合議会	・会第2回臨時会
19・議会運営委員会	・長野県下諏訪町議会
16・議会運営委員会	・視察来訪



## 不登校児童・生徒の支援団体の連絡会の設置について

長瀬 未紗 議員 《会派に属さない議員》

不登校は子どもが心の中で発しているSOSの表れであるとも言えます。子どもたちに寄り添い、安心して過ごせる環境を整えることが重要です。

現在、校内教育支援センターの設置が進められています。校内に居場所があることで救われる子どもがいますので、早急に進めていただきたいと思います。一方で、学校に通えない子どもも確実に存在しており、その子に合った居場所が必要であるという実も受け止めいただきたいと考えます。地域の居場所は子どもたちの命綱とも言えます。また、民間のフリースクールや居場所を周知するため

にも、連絡会を設けて、市から情報発信し、保護者や子どもが選択できるという環境を整えることが必要と考えます

が、見解を伺います。

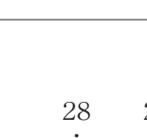
教育長 今後は不登校支援に携わる支援団体の連絡会を立ち上げるつもりです。情報提供の方法については、近隣市の取組を参考にしながら、早期に実現できるよう準備をしつかりと進めていきたいと思っています。子どもたちの中には、学校にはどうしても行けないお子さんがいると思

いますので、そういういろいろな場の提供をしていくことの行けないお子さんがいると思えます。また、教育委員会の大切な仕事の一つと考えています。

こども未来部長 他市では、生活保護世帯など、主に福祉分野で導入されている例が見られます。本市としては、子育て支援全体の中では、最も支援ニーズの高い時期へ出産直後から乳幼児期に至るまで導入することは難しい状況にあります。また、新たな支援策の考えは、保護者の不安軽減や家庭の安定、子供の健やかな成長につながる効果が期待できる支援については、必要な支援として実感していただきる施策の実施に引き続き取り組みます。

【再質問】 ウォーターパーク導入のメリットや、共同企業体の構成員となる事業者や従業員に求められる資格と、

## 介護現場の業務負担軽減市にも対応を求める



竹田 陽介 議員 《自由民主党座間市議団》

介護保険制度の根幹を支えるケアマネジャーの業務負担について伺います。法定業務を超えた、いわゆるシャドーワークの常態化による長時間労働や人材不足の実態と負担感を把握しているのか。また、人材不足による住民サービスへの影響をどのように認識しているのか。さらに、国は法定外業務を地域課題とし、保険外サービスやインフォーマル資源の活用を市町村に求めていますが、本市の具体的な対応と、制度改正を国に要望することへの見解を伺います。

【再質問】 現場では善意による対応が限界に近づいています。国において制度改正に反映させる姿勢が必要な動向を注視していきます。

福祉部長 ケアマネジャーは善意の下に行われており深刻な課題です。成年後見制度など活用可能な制度の周知も必要なことだと捉えています。

22・議会運営委員会	・第4回定例会
23・議会運営委員会	・会第2回臨時会
24・高座清掃施設組合議会	・長野県下諏訪町議会
19・議会運営委員会	・視察来訪
16・議会運営委員会	・会第2回定例会



## 不登校児童・生徒の支援団体の連絡会の設置について

長瀬 未紗 議員 《会派に属さない議員》

不登校は子どもが心の中で発しているSOSの表れであるとも言えます。子どもたちに寄り添い、安心して過ごせる環境を整えることが重要です。

現在、校内教育支援センターの設置が進められています。校内に居場所があることで救われる子どもがいますので、早急に進めていただきたいと思います。一方で、学校に通えない子どもも確実に存在しており、その子に合った居場所が必要であるという実も受け止めいただきたいと考えます。地域の居場所は子どもたちの命綱とも言えます。また、民間のフリースクールや居場所を周知するため

にも、連絡会を設けて、市から情報発信し、保護者や子どもが選択できるという環境を整えることが必要と考えます

が、見解を伺います。

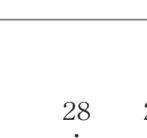
教育長 今後は不登校支援に携わる支援団体の連絡会を立ち上げるつもりです。情報提供の方法については、近隣市の取組を参考にしながら、早期に実現できるよう準備をしつかりと進めていきたいと思っています。子どもたちの中には、学校にはどうしても行けないお子さんがいると思

いますので、そういういろいろな場の提供をしていくことの行けないお子さんがいると思えます。また、教育委員会の大切な仕事の一つと考えています。

こども未来部長 他市では、生活保護世帯など、主に福祉分野で導入されている例が見られます。本市としては、子育て支援全体の中では、最も支援ニーズの高い時期へ出産直後から乳幼児期に至るまで導入することは難しい状況にあります。また、新たな支援策の考えは、保護者の不安軽減や家庭の安定、子供の健やかな成長につながる効果が期待できる支援については、必要な支援として実感していただきる施策の実施に引き続き取り組みます。

【再質問】 ウォーターパーク導入のメリットや、共同企業体の構成員となる事業者や従業員に求められる資格と、

## 介護現場の業務負担軽減市にも対応を求める



竹田 陽介 議員 《自由民主党座間市議団》

介護保険制度の根幹を支えるケアマネジャーの業務負担について伺います。法定業務を超えた、いわゆるシャドーワークの常態化による長時間労働や人材不足の実態と負担感を把握しているのか。また、人材不足による住民サービスへの影響をどのように認識しているのか。さらに、国は法定外業務を地域課題とし、保険外サービスやインフォーマル資源の活用を市町村に求めていますが、本市の具体的な対応と、制度改正を国に要望することへの見解を伺います。

【再質問】 現場では善意による対応が限界に近づいています。国において制度改正に反映させる姿勢が必要な動向を注視していきます。

福祉部長 ケアマネジャーは善意の下に行われており深刻な課題です。成年後見制度など活用可能な制度の周知も必要なことだと捉えています。

22・議会運営委員会	・第4回定例会
23・議会運営委員会	・会第2回臨時会
24・高座清掃施設組合議会	・長野県下諏訪町議会